

令和元年度 第1回西蒲区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	令和元年 6 月 27 日 (木) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 45 分まで
会 場	巻地区公民館 3 階 小ホール
出席者	西蒲区自治協議会委員 23 名 (欠席 7 名) 教育委員：山倉教育委員, 市嶋教育委員 事務局：教育長, 地域教育推進課長, 教育総務課長補佐, 学校人事課長補佐, 学校支援課長補佐, 巻地区公民館長, 西川図書館長, 教育総務課総務グループ主幹 西蒲区教育支援センター所長, 他 3 名 西蒲区役所: 区長, 副区長 傍聴者: 0 名 (報道 0 名)
議 事	1 開会 2 教育委員挨拶 (山倉教育委員, 市嶋教育委員) 3 意見交換 (司会 西蒲区教育支援センター所長) ① 令和元年度教育委員会の施策について (教育長による説明)
自治協委員	昨年度の自治協議会で, 市長が 2019 年度新潟市の取組についてお話してくださいました。その中で「より質の高い教育に向けた環境整備」として「全教室へのエアコン設置」を決めたことを述べられました。 しかし, 新聞では, 「新潟・下越の小・中学校 157 校に設置予定エアコン 130 校, 今夏間に合わず。発注遅れ, 資材不足が要因」「小・中学校のエアコン設置, 夏休み明け, 25 校程度」との報道がありました。また, 市議会文教委員会の協議会で, 「市立小・中学校のエアコンの設置に関して 2 月議会で夏休み明けまでに 50 校程度の完了を目指すとしたが, 25 校にとどまる」とも書かれています。 業者の関係もあるし, 新潟市内の学校 157 校に一斉につけるのは無理にも思えますが, 今後の設置の見通しはどのような状況なのでしょうか。
教育長	本当にこのたびエアコンの設置が遅れたことは申し訳ないことだったと思っております。全国一律に一斉の整備となるため, 当初から資材及び工事を請け負う人員の確保が難しいだろうと考えていました。せめて夏休み明けまでには 50 校を目指すということだったのですけれども, 入札が不調に終わったり, こちらが最初予定していた機器が手に入りにくい状況だったりということがいろいろありまして, その後, また業者とも打ち合わせをして, 入札をし直したために当初予定の半分程度の設置になってしまったということでございます。 ただ, 当初の 2020 年 1 月末までに全部の普通教室にということは, なんとかしてでも実施したいと考えておりますのでご理解いただきたいと思います。
自治協委員	教職員の多忙化について質問します。学校は忙しいということを聞きます。私の近くに, または私の家にいる娘も新潟市内に勤めていますが, 非常に忙しい。こういう現状だと優秀な教員になる予定の人も, 魅力を感じて教職の門を叩かないのではないのでしょうか。新しい教育がどんどん入ってきて, IT 教育も入ってきた

ら、これは教職を目指す人間であれば、誰でも頑張り抜くと思うのです。そういうところを教育長、現実を捉えていただきたいと思うのです。そのために、心の病を病んでいる教職員も結構いるのではないかと思います。

新聞を見ましたら、全国に心を病んでいる教師が相当いると報じられていました。そうしますと、新潟市内にも必ずいるわけです。そういうところに温かいケアと手立てと指導をしてやってほしいと思うのです。

教育長

当然、本市にも心の病で休んでいる教職員もおりますし、そういうところでは早期の段階から校長をはじめ、退職とかケアもしながら、また、復帰できるときには復帰に向けたプログラム等も行っているところではあります。私も毎年、春に学校を回りますが、本当にどこに行っても忙しいという声を現場から聞いております。教職員の定数改善についても、国へは政令市の会議で、市等へも私は継続して一番の要望として挙げているところではあります。市が単独で人を増やすということが難しい中で、このたびの「働き方改革」でやっているように、とりあえずできることから地道な取組を進めているところではあります。学校現場で人が足りないということは十分承知していますので、地域の皆様、保護者の皆様にもご理解いただき、ぜひとも学校のほうにもご支援等もお願いできればと思っています。

学校人事課長
補佐

委員のおっしゃるとおり、学校のほうはやはり忙しいというのは現実のところだと思っております。前回の自治協議会のときに多忙化解消のリーフレットをお配りさせていただきました。この取組はまだ始まったばかりで、これから本当に真剣に考えていかなければいけないと考えているところでございます。

そして、少しでも教員の魅力が、やり甲斐が、今の若い人たちに伝わるような、そういった魅力ある職にしていかなければいけないなということを今の委員のお言葉で、もう一度気持ちを新たにしたいところでございます。ありがとうございました。

自治協委員

実は今、教育長からお話しいただきました、10 ページのコミュニティ・スクールについて、正直よく理解できなかったところではあります。2019年から2020年にモデル校を設けるとのことですが、西蒲区ではモデル校はあるのでしょうか。

地域教育推進
課長

地域と学校の連携・協働について担当しております。所管課は若干違うのですけれども、現在の状況についてご説明いたします。コミュニティ・スクールと称されておりますけれども、後ほどご説明いたします「地域と学校パートナーシップ事業」と非常に関連があります。地域の皆様と一緒に取り組んで、地域や学校や子どもたちのために取り組みましょうというのが「地域と学校パートナーシップ事業」です。そのときに、どのような学校にするか、どのような子どもたちに育ててもらいたいのか、そのようなご意見を地域の皆様は学校にお話をして、学校がそのお話を聞きながら、要は地域の皆様の意向も踏まえながら、こんな学校にしていきたいと思いますという提案をしていくのが、このコミュニティ・スクールの制度です。形として動くのはパートナーシップ事業、そのために目指すことを話し合っていくのがコミュニティ・スクールという役割になっています。車のエンジンとハンドルの役をするというような関係になります。ただ、まだ詳しくは決まっていない状況ですので、今後

決まりましたら改めて皆様にご説明をすることになっております。

それから、来年度スタートするモデル校につきましては、現在、市の小学校長会や中学校長会のご意見もいただきながら検討中です。西蒲区で、あるいは何々区でという段階で今お話しすることはできないのですが、これが固まりましたらお知らせする機会があればというふうに思っております。

司会

未来を担う子どもたちをすこやかに育むためには、保護者・地域・学校がその役割を自覚しつつ三者が連携していく必要があると思います。ここからは、地域全体で目指す子どもの姿を共有し育む体制づくりについて、本日のミーティングにおいては、まず西蒲区における現状や課題についてご意見を頂戴したいと思います。

意見交換の前に、まず資料の説明をいただきたいと思います。地域教育推進課長からお願いします。

地域教育推進
課長

② 保護者・地域・学校の連携について(地域教育推進課長による説明)

自治協委員

西蒲区を中心として、ものづくりをしながら小学校や公民館といった地域のところに入って活動しています。これは西蒲区だけの課題ではなく、いろいろなところの地域で保護者等から聞くお話として、ちょっとこれはお伝えしたほうがいいのかなど、ずっと何年も前から思っていたことがあります。

地域教育コーディネーターというのは、とても重要な役割を持っていると思っている地元の方がほとんどだと思うのです。地元をとってもよく知っていて、本当に関係性が深い方、熱い方になっていると思っています。

その中で課題としましては、地元だからこそ近い関係ということで、先生方も学校でのお子さんとか保護者の話を教務室でお話ししたりすることがあると思うのです。そこで、先生方が何気なく話していたことが漏れることが実際にあり、守秘義務の確認がどのような形でされているのか疑問に思うことがあります。

そういったことは教育現場にいる先生方ももちろんそうですし、意識の向上というか、子どもたちは先生には話せないけれども、コーディネーターには話せるという、そういった信頼も持ってお話をする人もいるし、保護者も同じです。コーディネーターへの信頼が厚くなっている一方、「でももう言えないよね」と思う、そういう感じになってしまうのは、すごく残念だなと思います。とてもいい取組だけに、意識の改革というか、確認というか、その辺をどうしたらよいのでしょうか。研修と言うと、また多忙化につながると思うのですが、そちらが少し気になりました。

あとは私自身学校にかかわることが多く、ボランティアで入ったり、先日も学年行事の講師として伺ったりしたのですが、その打ち合わせの際に保護者の方が、地域に私のような者が近くにいる、ものづくりをしたいと思ったときに、どうやって知ればよかったのだろうという話をされていました。実際、私は市の生涯学習教育の登録講師になっていますが、でもそういうこと自体、知りません。たまたま公民館の人に相談したら、地域にこういう人がいるよということを教えてもらったということでお話をいただいたのです。やはり学・社・民というものがあって、生涯教育

とか今後につながる活動として、地域にこういう人たちがいるよということをコーディネーターがつなぎ役として、そういったお知らせとか、こういうものを見ると、そういう人たちを知ることができますということで紹介できるようになるとよいのではないかと思います、発言させていただきました。

自治協委員

今のお話にあったのは、おそらく勤務する人たちのいわゆるモラルの問題だと思うのですが、地域教育コーディネーターは、これから市教委がやろうとする連携については一番中心的な役割を担う人だと思うのです。それが実際には1校いくら、何時間という枠があると聞いております。説明によると、守秘義務はコーディネーターにもあるようです。ただ、そのための研修をすることになるとコーディネーターの勤務時間が必要になります。それらを市教委のほうで応分なものを出していただければ少しはいろいろな問題、情報の共有なんかもできるのではないかなと思います。学校でも先生方と共有できる時間を取るとか、そんなことをしていただければ少しずつでも直ってくるのではないかなと思います。

もう一つは、コーディネーターが新聞等を出したものを地域に配っていることについてです。実はある学校で、コーディネーターは非常に一生懸命やってくれてまして認知症関係の研修をしてくださったのですけれども、最初はお金があったのでカラーのものを地域全戸に配ったのです。ところが2回目になったらカラーで出すお金がないということになり、モノクロになりました。地域の方は、カラーのものが来たら非常に興味を持って見てくださるのです。予算措置をぜひお願いしたいと思います。

それと、学校の校長先生は非常にお忙しいと思うのですが、例えば地域で子ども見守り隊がいて、校長に朝、見回りの人がいるから出てきませんかという話をしても、何年経っても外へ出てこないのです。やはり校長先生はおそらく学校にいることは私も昔からよく聞いて、いろいろな事件とか、そういうものがあるから学校を離れられないということもよく聞きますが、今はこういういろいろな制度で、学校も地域の方もカバーしているので、校長先生も地域というか、朝少し早く出て回って歩くとか、ご苦労様ですねという一言があればいいかなと思うのですが、教育委員会のほうでも、ぜひいいことを指導していただきたいと思います。

自治協委員

先ほどのコーディネーターのお話をいろいろとお聞きしまして、本当にコーディネーターの方は大変なお仕事だと思います。優秀なコーディネーターの皆様ですので、「その辺は申せません」と言葉を選ぶなど、先ほどの委員が言われたように、人格者として見本になるようなコーディネーターであってほしいと思います。

以前、小学生の子どもたちに昔の地域の事柄を聞かせてほしいという依頼が私に入ったことがあります。地域にあるいろいろな昔の話をよく知っていらっしゃる方々と相談して、かなり調べました。ところが、私が勘違いしたのか、「昔の事柄」ではなく「昔の言葉」について聞かせてもらいたいということが、その授業のときに分かったのです。ひとまず、私が子どもの頃からの言葉はこうです、ああですと話しました。

お陰様で私はいろいろ勉強しましたがけれども、子どもたちが求めているものは言葉だったのです。今の言葉と昔の言葉ということで、それはそれで、その場で収めましたけれども、いろいろ勉強した甲斐があったのですけれども、ただ、それを子どもたちに伝えたかったのが事実でございました。子どもたちに昔のことをよく知ってもらえれば、また地域のお話ができたのでしょうかけれども、時間制限でしたので、そういう話も、し始めたのですけれども、もう終わりですと言われたので、ちょっとどうかなという感じも受けましたけれども、その辺のところを着実にやっていただきたいと思います。

自治協委員

今ほどは地域教育コーディネーターへの貴重なご意見をどうもありがとうございます。まず1点目、情報漏洩についてのご意見ですが、何をするとか、それぞれの学校で何にどう取り組むとか、それ以前の問題だと思えます。大変重要な視点だと思いますので、これにつきましては、西蒲区の研修ももちろんコーディネーター研修をきちんと取ってごきますので、その折りはもちろんですが、密接な横つながりがごきますので、各自それぞれがお互いに注意し合って意識向上につなげていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

もう1点、新潟市のパートナーシップ事業研修について、地域教育推進課で大変素晴らしい研修を行ってくださっております。その際にも私もコーディネーターも、モラルやコンプライアンスについてのお話ももちろん伺っておりますので、再度また勉強し直し、お互いに意識向上に研修をしっかりとつなげていきたいと思っております。保護者の方や、もちろん先生方からも大変信頼を寄せていただく立場であるコーディネーターです。実際に本当に守秘義務が一番大事なところなんです。校内のこと、それから地域で得た情報というのは、自分たちで制限できないほど実際集まってきますし、耳に入ってくることもあります。その中で、私たちが仕事にどうしても忙殺されがちなのですけれども、一つ一つ改めてしっかりと、その都度の事業や授業の観点・視点をずらさずに、どこを大事の一つ一つ取り組んでいくのか、クリアしていくのかということ丁寧を考えながら、考察しながら進めていかなければならないなと今改めてご意見を伺いながら考えておりました。どうもありがとうございました。

自治協委員

学校もいろいろ、教職員もいろいろ、校長もいろいろです。決して校長が外へ行って子どもとともに遊んだり、あるいは励まし合ったりするようなことをしないわけではありません。

それから、西蒲区のパートナーシップの事業、他の学校は分かりませんが、パートナーシップの活動が素晴らしいのです

教職員の意識調査結果によると、「地域と学校パートナーシップ事業は、児童生徒の学力向上につながっている」となりますが、これは私もそう思います。学力向上につながるというのは、おそらく活動へのモチベーションが子どもたちの学習意欲を喚起しているのではないかと思うのです。

また、「児童生徒の社会性の育成につながっている」とありますが、ここのところ

を本当に頑張っていたらいいと思うものがあるのです。最近、子どもたちに会ってもあいさつがないと感じています。なんとかして基本的な生活習慣等をもう少し教えていただきたいと思うのです。これは学校でもやっているかと思うのですが、西蒲区だけでなく、市全体にかかわることだと思うのです。最近の子が、あいさつしなくなったのはなぜか。あいさつはいいものです。こういうものを、しっかりパートナーシップの中で、ぜひ取りあげていただきたいということです。

自治協委員

今、冒頭でパートナーシップの事業について大変素晴らしいご説明をいただきまして感動いたしておりました。私の地域の岩室でも学校と地域をつなげて子どもたちとふれあいながら、さまざまな取組を進めております。その一つ、まち歩きガイドの立場での役割といたしましては、学校の事業計画に基づいて、小学生や中学生を対象に、かつては山城があった天神山に登り、そして北国街道やまちを歩くことで地域の歴史や文化に触れ、自分たちの住んでいるまちに興味を持ってもらえたら嬉しいというところで取り組んでおります。

また、教員経験のある先生方を中心に行っております放課後の学習支援事業では、たくさんの児童たちが、とても楽しそうに学ぶ姿が印象的でございます。これは一つ、二つの事例にすぎませんが、学校は子どもたちの学習の場であるとともに多くの人とのかかわりの場を育てる場所でもあると思っております。より多くの地域の方たちと、そのかかわりの中で豊かな心が育つことを願っているところでございます。

しかし今、学校の働き方改革のお話でございましたけれども、これからますます本格化してくると言われております先生方の負担軽減も含めて、保護者・地域・学校の連携がより一層求められる中で、地域がどこまでどう取り組んでいけるかということが大きな課題になるのではないかと感じたところでございます。

山倉教育委員

山倉です。本日は限られた時間でしたので、皆さん全員がご意見を言うということがなかなかできずに少し残念でした。最初の教職員の多忙問題ですが、やはり学校だけではなく保護者や地域の方たちが協力して理解して進めていかなければならないなということを思いました。

あとは、コーディネーターのことでいろいろお話しなされたのですが、本当に私もそうなのですが、育成協でもコミュニティ協議会でも何か地域でやるときは、必ずコーディネーターにかかわっていただいて、学校を巻き込み、地域を巻き込み、公民館を巻き込み、そして進めていくということが現状です。ますます忙しくなる中で、やはり地域の方たちも理解し、協力し合っていて、子どもたちのために進めていければいいなと思っております。本日は、どうもありがとうございました。

自治協委員

まだエアコンの入っていない学校があると聞きました。本当にみんなからカンパしてもいいですので、やはりエアコンをぜひ入れて、子どもたちが学力向上につながるように努めてもらいたいです。本当にこれだけ蒸し暑い中、何よりも環境が一番大事です。よろしくお願いします。もし必要でしたらカンパをしますので、よろしくお願いします。

市嶋教育委員 今日は大変貴重なご意見、ありがとうございます。エアコンのお話もいただきましたけれども、本当に子どもたちの環境、生命にかかわることは非常に大事だと思いますので、しっかり行政のほうも説明責任を果たしていただきたいなと思いますし、また、しっかり私たち市民もその情報を取るというところに関しては、しっかり知る、どこから情報を取ればいいのかなどというところを、ぜひ勉強する機会もまた必要なのではないかなどご意見を聞いていて感じました。

また、コーディネーターについては、本当に皆様の関心を寄せておられる期待が高いのだなということ、この地域でも改めて感じたところでもあります。また地域の問題とか、いろいろお仕事に見合ったものが絡んでいるのかどうかというのは、私も疑問に思うところもあるのですが、やはりコンプライアンスとか、個人情報とかを守っていただかなければいけない責任が発生する以上は、それに見合った対価と言いますか、そういったものも今後見直していかないといけないのかなと、そんなふうを感じました。

また全体をとおして、この自治協議会の皆様方もそうですけれども、私も自治協議会をやりましたけれども、ほとんど子どもたちや地域のことに関しては賃金の発生しないボランティア精神あふれる皆様方で成り立っているということを考えると、今後、子どもたちに健全な環境を作っていくには、私たち市民一人一人の心がけを改めてしっかり子どもたちに資することを提供し続けることが必要なのではないかなということ、改めて今日、皆様方から意見をいただいて感じたところがあります。

また、今日議事録もしっかり取っておりますので、必ずこの意見が風化しないように、しっかり行政のほうにも、この意見が反映されるように私も意見をしていきたいと思っておりますので、今日は本当に貴重なご意見、貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。

議 事

4 西蒲区自治協議会長挨拶

5 閉会